

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



写真提供:竹島知憲 会員(秋田東ロータリークラブ) 9月寒風山にて

CONTENTS

- | | |
|------------------------------|---------------------------------------|
| ■ 表紙 1 | ■ 地区行事開催レポート・米山梅吉記念館便り 9 |
| ■ 平澤ガバナー メッセージ 2 | ■ コーディネーターNEWS 9月号 10 |
| ■ 国際ロータリー会長 メッセージ 3 | ■ 新会員紹介、PHF・MPHF・米山寄付者紹介、物故者情報 ... 11 |
| ■ ガバナー公式訪問レポート 4~7 | ■ 9月のRIレポート、文庫通信、7月会員数・出席報告 12 |
| ■ ガバナー公式訪問レポート・クラブ活動報告 ... 8 | |

Rotary



国際ロータリー第2540地区

ガバナー 平澤 孝夫

〒010-0001 秋田県秋田市中通2丁目6-1 秋田ビューホテル707

TEL:018-825-0288 FAX:018-825-0288 E-mail:rid2540g16-17@clock.ocn.ne.jp

ロータリー財団100周年をお祝いしましょう

2016-17年度に100歳の誕生日を迎えるロータリー財団。1世紀にわたり、世界中のロータリー会員による奉仕活動を支え、奨学金を通じて若者を支援し、ポリオ撲滅を実現に近づけてきました。

きれいな水と衛生設備の提供、疾病の予防と治療、平和と紛争解決、基本的教育の推進、経済と地域社会の発展は、いずれもロータリーが力を注いでいる分野です。これらの分野とポリオ撲滅において、ロータリー財団は重要な役割を果たしてきました。

記念イベントを地元で実施したり、メディアで紹介したりして、財団の活動成果を多くの人に伝えましょう。

ロータリー財団の歴史

1917年、当時のロータリー会長、アーチ・クランフが「世界でよいことをするための」基金の設置を提案。この基金が1928年に「ロータリー財団」と名づけられて国際ロータリーに組み込まれ、現在のロータリー財団にいたっています。

財団の成長

1929年、財団は初の補助金500ドルを国際障害児協会へ贈りました。この協会は、ロータリアンだったエドガー F. “ダディー” アレンが創設したもので、後に「イースター・シールズ」（米国の慈善団体）となりました。

1947年、ロータリー創設者のポール・ハリスが亡くなると、多くの人びとから国際ロータリーに寄付が寄せられました。この寄付は「ポール・ハリス記念基金」となって、その後のロータリー財団の発展のために役立てられました。

財団プログラムの変遷

1947年、財団初のプログラム「Fellowships for Advance Study（高等教育のためのフェロシップ）」を開始。このプログラムは後に「国際親善奨学金」として知られるようになります。

1年目は、米国、ベルギー、英国、フランス、メキシコ、中国の18人の若い人たちが選ばれ、他

国でそれぞれの専門分野を勉強しました。

1965～66年、財団が新たに「研究グループ交換（GSE）」「Awards for Technical Training（技術研修のための補助金）」「Grants for Activities in Keeping with the Objective of The Rotary Foundation（ロータリー財団の目的を果たす活動のための補助金、後の「マッチング・グラント）」の3つのプログラムを開始。

1978年、「保健、飢餓追放、人間性尊重（3-H）補助金プログラム」を開始。3-H補助金のプロジェクト第一号として、フィリピンの600万人の子どもたちにポリオの予防接種を実施。

1985年、全世界でポリオの撲滅をめざす「ポリオプラス・プログラム」を設置。

1987～88年、初めての平和フォーラムが開催され、これが「ロータリー平和フェロシップ」創設のきっかけとなりました。

2013年、世界中のロータリアンがグローバルなニーズに応えられるよう、新しい補助金モデル（地区補助金、グローバル補助金、パッケージ・グラント）を導入しました。

1917年に26ドル50セントの寄付から始まったロータリー財団は、10億ドル以上の寄付を受けるほどの大きな財団に成長しました。財団はこうして多くの方々に支えられ、人道的分野や教育面での支援活動を続けています。

2540地区では財団100周年をお祝いすると同時にポリオ撲滅募金キャンペーンを予定しております。

皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



Hirasawa Takao

2016-2017年度ガバナー 平澤孝夫



40年前、私が働いていた会社のオーナー、ジョージ・キャンベルさんからロータリー入会の誘いを受けました。当時、米国でこれはよくある慣習でした。入会すれば、会社の

ためにも地域社会のためにも良いと考えられていたのです。もちろん、誘われれば「はい」と答えます。あの時代に会員数が急増したことは驚きではありません。

ジョージさんからは、仕事をさぼる言い訳としてロータリーを使わないようにと言われていました。それでも、昼食例会に出たり、地元で奉仕活動をする時間はいつも十分にありました。週に1度、長めの昼食を取ることが昇進を妨げるとか、仕事中に時折かかってくるロータリー関係の電話について上司がどう思っているかなど、心配はまったく無用でした。

しかし、今日の事情は違います。会社は時間にもっと厳しくなり、社会奉仕への参加を好意的に見てくれるマネジャーばかりとは限りません。携帯電話に次々とメールが着信する状況では、ロータリー例会を心から楽しむことはできません。仕事とロータリーの両立はかつてないほど難しく、数十年前にロータリーの成長を促したモデルは、今や成長を妨げる要因の一つとなっています。

最近の規定審議会で、クラブが例会時間に多様性をもたせ、入会候補者の幅を広げることを

認める画期的な決定が採択されたのは、このためです。会員のニーズに応え、会員増強の障壁をできるだけ取り払うため、クラブの柔軟性が増しました。しかし、皆さんにしか取り払えない会員増強の課題で、しかも候補者がロータリアンとなるには絶対に欠かせないものが一つあります。それは、ロータリークラブ入会の誘いです。

「ロータリーの前進には、進んで奉仕する手、思いやる心、聡明な頭が必要」と私が話すと、ロータリアンの皆さんは大きな拍手をしてくださいます。しかし、これらの手、心、頭は、魔法のようにクラブに現れるものではありません。私たち自身が入会を誘わなくてはならないのです。これは皆さんにしかできないことです。この誘いは、いわばプレゼントです。「あなたは、地域社会をより良くするために必要なスキル、才能、人格をお持ちなので、私たちと一緒に地域社会で活動していただきたいのです」と言うことです。

私は国際ロータリーの会長ですが、そんな私でさえ、チャタヌーガ・ロータリークラブ（テネシー州）にしか新会員を入会させることはできません。皆さんのクラブや地域社会を強くすることは、私にはできません。入会するにふさわしい知り合いを「人類に奉仕するロータリー」に誘えるのは、皆さんをおいてほかにいないのです。

A handwritten signature in cursive script that reads "John".

2016-2017年度国際ロータリー会長

ジョン F. ジャーム

8月1日(月) 稲川ロータリークラブ

稲川RC 会長 佐藤 繁夫

「平澤ガバナー公式訪問を受けて」

夏の暑い八月一日、平澤ガバナー、高橋ガバナー補佐、当方より、会長幹事を交え、予定時間より早目の打合会が始まりました。

平澤ガバナーの挨拶で各ロータリーには歴史も有りそれを大事にしていきたい等、地区に付いては、会員増強を第一とし一人でも多くの会員の入会に力を入れて欲しい、当方も二～三人入会见通しで有る事も話した。その他当方よりのお願ひも聞き入れ頂き、返事の連絡も、メールで後日頂きました。

当クラブは少人数ですが、月一回の夜例会を行なって、会員の親睦を計り、進めている所で有ります。又例会では、事務局よりの連絡も含め、見える化に力を入れて折ります。説明もして和やかな内に打合会は終わりました。平澤ガバナー他役員の方、同行された能登谷様には、早い時間より本当にありがとうございました。



8月2日(火) 角館・田沢湖ロータリークラブ

田沢湖RC 幹事 熊沢 正志

8月2日、平澤ガバナー、田口ガバナー補佐をお迎えて角館・田沢湖ロータリークラブ合同によるガバナー公式訪問、合同例会が開催されました。

例会に先立ち、各クラブの会長、幹事による面談が行われました。

各クラブからの活動報告、事業計画があり平澤ガバナー、田口ガバナー補佐からは会員増強、脱退防止に関する沢山のご指導や一人一人のロータリー感に関する思いを認め合う教え、体調管理の大切さ等、今後のクラブ運営への助言を頂きました。

その後の例会では秋田東ロータリークラブ渡部地区副幹事にも御協力頂き、平澤ガバナーより講話を頂きました。平澤ガバナーの穏やかな人柄の



中にこれからの方針を熱く語って頂き会員一同有意義な時間を過ごす事ができました。これを機に両クラブで魅力ある運営に努力して参りたいと思います。

8月4日(木) 鷹巣ロータリークラブ

鷹巣RC 幹事 佐藤 康弘

8月4日(木)、平澤ガバナーと八重樫北区ガバナー補佐をお迎えての公式訪問例会が行われました。例会に先立って行われた会長幹事面談では、当クラブの今年度方針と実情を快くご理解頂きまして大変有難く思う次第であります。その後行われた昼食例会の中でも、会員増強というテーマについてのアドバイスやパワーポイントを使用してのロータリーの有り方や取組み等を解りやすくご説明頂きましたし、ジョンF. ジャーム R I 会長の映像では、会員一同深い感銘を受けました。最後に、この度の公式訪問では、短い時間ではありましたが、平澤ガバナーのお人柄を知ることが出来たこと、そして何よりロータリアンとしての使命を共感した素晴らしい機会となりましたことを深く感謝申し上げ



げます。これを機に我々は更に結束し、活動を推し進めて参る所存です。遠方からのご訪問本当に有難うございました。

8月9日(火) 本荘南ロータリークラブ

本荘南RC 会長 高山 英雄

8月9日(火)平澤ガバナー、佐藤ガバナー補佐、秋田東RC鈴木会員をお迎えし、ガバナー公式訪問例会が開催されました。

会長・幹事面談では、ガバナーのお気遣いにより、終始和やかな雰囲気の中で率直な意見交換が出来ました。平澤ガバナーからのお話のメインは①ロータリー財団100周年の記念の年であること②会員増強に関してでありました。

ロータリー財団につきましては、100周年という記念の年であることを会員全員が認識し、可能なかぎり地区方針に従い年次基金の増を目指したいと思えます。また、会員の増強に関しましては“何処も悩みは同じ”であり、一朝一夕ではなかなか困難なこととは感じましたが、ガバナーからの「どんな人の心にも他の人の役に立ちたいと思う部分はある」「ロータリーは会員の多様性を尊重しながら、奉仕の精神を具現化する方法・場所の一つである」というお言葉に、今までの固定観念を捨て、リタイヤした方、若い方、また女性会員も視野にいれながら、一人でも多くの会員を増やすべく声掛けをして行こうと認識



を新たにしました。

例会の冒頭、RI会長のジョンF. ジャーム氏によるポリオ撲滅に関するスピーチ動画がスクリーンに映し出され、その圧倒的な説得力そして崇高な志に会員皆が胸を打たれました。

今後はガバナーから頂いた貴重なアドバイスの数々を指針に、小規模ながら、楽しくも有意義な本荘南ロータリークラブとなるべく、努力を怠らず前進して参りたいと思えます。

8月10日(水) 大館・大館北・大館南ロータリークラブ

大館北RC 会長 笹谷 博久



総勢51名の参加を得て恒例の大館RC、大館北RC、大館南RCの3ロータリー合同公式訪問例会並びにガバナー歓迎懇親会を行いました。

今年は、3RCの会長、幹事の面談を平澤ガバナー、八重樫ガバナー補佐と各クラブ毎に行い。その後合同例会懇親会という流れでした。ガバナーの講評では、サンディエ

ゴの国際協議会の模様を、プロジェクターを使われて臨場感あふれる報告をしていただきました。

また、当日はガバナーサポートチームとして秋田東RCの方が2名見られました。聞けば、何人かで交代で公式訪問の時など運転手を務めているということでした。なんとも、うらやましくも頼もしくも感じました。

8月19日(金) 秋田中央ロータリークラブ

秋田中央RC 幹事 阿部 大助

8月19日(金)、秋田中央ロータリークラブへ平澤孝夫ガバナーが公式訪問でお出でになりました。三浦潔ガバナー補佐にも出席していただき、当クラブの佐々木力会長、石川正美会長エレクト、中村瑞樹副幹事、幹事の私との面談を11時より一時間にわたって行っていただきました。

佐々木会長から当クラブの現状報告の後、平澤ガバナーより様々なアドバイスをいただきました。もともと当クラブではロータリー財団への寄付が一人100ドルを超えておりますが、財団100周年の年に当たり、さらなる協力を求められました。

当クラブの会員増強の目標は3名増強し会員数を40名にすることですが、ガバナーより「秋田中央ロータリークラブは活発に多様な奉仕活動をしており、例会への出席率も向上し、充実しているクラブだからこそ、一步一步着実に会員を増強していただきたい」とのお言葉をいただきました。



例会においても、映像を用いてジョンF.ジャームRI会長のお言葉を紹介され、最近入会した会員にもわかりやすいお話をしていただくことができました。

8月22日(月) 本荘東ロータリークラブ

本荘東RC 会長 池田 俊郎

平澤ガバナーには、当クラブ公式訪問においで頂き、ありがとうございました。

会長エレクトセミナーの時から財団「寄付ゼロクラブの解消」へのご協力をお願いが頭に残り、どう対応してゆけば良いのか切実に悩んでおりましたが、会長幹事面談での平澤ガバナーのお人柄に触れ心配事が一掃しました。

およそ一時間の面談でしたが、今年一年間頑張ろうと強く自覚できました。

私たち本荘東ロータリークラブが30年近く継続しています「水林新生園」との交流をより一段大きな事業とし、奉仕活動の充実を図ってゆきたいと思えます。そして会員の増強をより一層健闘し、会員30名を目指し、実現に向けて精進したいと思います。



来る11月の地区大会には、多数のメンバーを連れて参加しなければと心新たに決意したところです。一年間頑張ります。

8月23日(火) 秋田北ロータリークラブ

秋田北RC 幹事 小野 貴信

8月23日火曜日、平澤孝夫ガバナーに公式訪問でお越しいただきました。

当クラブより出向している三浦潔ガバナー補佐にも同席いただいて、野口会長、幹事の4名で例会前に約1時間の面談をしました。

まずは、前年度に6名の会員増強を達成し、今年度も2名の増強がされていることに触れていただき、この調子でますます会員増強を期待しますと、激励をいただきました。

また、財団創立100周年となる記念の年に、さらなる寄付に励んでほしいというご要望から、WF資金の活用のお話になり、今まで活用していなかった事業に対する補助金の貴重なお話をいただきました。

他にも、地区大会の内容や、IMの開催準備の進捗状況なども知ることができました。

個人的に印象に残っているのは、「メイクで例会に参



加される方が最近少なく感じる。活性化のためにも所属クラブ以外での例会参加も増やしていただきたい。」というお話でした。ぜひ当クラブでも会員に伝えていきたいと感じました。

その後、12時30分から例会では映像を使いながら、RI会長のお話を聞くなど、限られた短い時間で貴重な機会をいただいたことに感謝いたします。

8月24日(水) ニッ井ロータリークラブ

ニッ井RC 会長 飯坂 光成



昨年の今頃は、北区ガバナー補佐として、担当クラブにお邪魔をしているような意見や要望を伺っていた自分が、今年度の会長・幹事面談においては反対側からガバナーやガバナー補佐の考え、地区の方針を聞くという事を経験させていただきました。その中で思いの少しを書かせてもらいます。

私は今年度の「会長方針」として3つを掲げました。

◎「健康でロータリーを楽しむ」
地区の行事や地域のイベントに積極的に参加
互いの健康を気遣う為にも例会に参加・メークの推奨

◎「気の合う仲間を増やす」
入会しても脱会しない仲間を純増する
仲間を増やし、各事業を盛り上げる
そして最後はジョンF.ジャーム R I 会長の

◎「人類に奉仕するロータリー」
クラブ・地域・人・ロータリーへの奉仕
ロータリー財団・米山奨学会への寄付

以上の事を進めている中で、会長・幹事面談でガバナーの考えと照らし合わせて見ましたら、ほとんど変わらないと思いました。この1年間を平澤ガバナーや地区の役員の皆様といっしょにクラブや地区を盛り上げて行きたいと、強く感じた最高の公式訪問になりました。

8月26日(金) 秋田港ロータリークラブ

秋田港RC 幹事 土崎 俊成

近いうちに台風10号が北上か・・・と、いった中の平澤ガバナー公式訪問。しかし、土崎は平穏な天候。これも平澤ガバナーの人柄(?)の影響でしょうか。11時からの会長幹事面談では現在休会となっている当クラブスポンサーの秋田港ローターアクトの件などのアドバイスは勿論のこと、ガバナー自身も疑問に思っているロータリー財団寄付の件、公式訪問用のビデオの作成秘話など気さくにお話ししてくださいました。



例会ではそのオリジナルビデオに基づいて、R I 会長ジョンF.ジャーム氏が掲げる今年度のR I 目標、そしてご自身のR I 2540地区に対しての地区目標を丁寧に分かり易くお話し下さいました。「私が思うロータリーのクラブの特長の1つは多様性。各クラブの歴史、伝統、地域の特性、会員数に応じた活動をすればそれでいいと思う」というガバナーのお言葉に感銘を受けました。

「多様性」確かに大事なことです。その状況に応じてスマートに、確実に、迅速に対応する奉仕ができるロータリークラブでありたいと思いました。「私が秋田東ロータリークラブ会長のときはロータリークラブ創立100周年。そして私がガバナーになった年がロータリー財団の100周年。100周年に縁があるようです」と笑っておっしゃっていましたが、それはやはり、平澤ガバナーならではのすばらしいめぐり合わせなのだと思います。その平澤ガバナーに胸を張れる1年になるよう当クラブは邁進していきます。

8月30日(火) 秋田西ロータリークラブ

秋田西RC 会長 有田 正司

2016年8月30日(火)、台風10号が東北に上陸しようとしていた頃、平澤ガバナーが秋田西RCを公式訪問されました。三浦潔ガバナー補佐も同席され、午前11時より会長幹事面談、12時30分より例会が行われました。

地区の現況などをはじめ、長いロータリー歴と豊富な経験をもとに内容の濃い講話をいただき、会員一同改めてロータリーの意義について再認識させられました。特に、ガバナーがピックアップしたジョンF.ジャーム R I 会長のポリオについてのスピーチは、心に残る素晴らしいものでした。英語がわからなくても、字幕スーパーの名訳により、分かったような気がするの不思議です。

平澤ガバナーの、大きく懐の深いお人柄から語られる言葉のひとつひとつからも、たくさんの示唆をいただきました。



公式訪問はまだ半分を残す途中とのこと。ご健康に留意され、超過密スケジュールをつつがなく終えられますよう、心よりお祈り申し上げます。

8月31日(水) 山本ロータリークラブ

山本RC 幹事 荒川 明仁

平澤ガバナーをお迎えしての、公式訪問例会が行われました。きつご指導を受けるのではと心配でしたが、ガバナーの最初の言葉が、我がクラブへのお褒めの言葉を頂き、とてもうれしく、肩の力が抜けたような気がしました。

例会に先立っての会長・幹事の面談では、地区方針の概要説明等もいただきましたが、平澤氏がガバナーになって理解できたこと、感じた事柄についてのお話が、とても勉強になりました。

例会では、RI 会長ジョン F. ジャーム氏の方針を中心にご講話いただきました。特に RI 会長の動画による挨拶を初めて見る会員が大部分でしたので、とてもよかったですと感じております。当日ガバナー



からいただいたアドバイスをもとに、一年間頑張っていく所存です。平澤ガバナーの奮闘に期待します。本当にありがとうございました。

クラブ活動報告

坐禅体験及び納涼例会 開催報告

象潟RC 幹事 今野 真保

象潟ロータリークラブでは、毎年7、8月頃、会員同士の親睦を深めるクラブ奉仕活動として、坐禅例会と納涼例会を企画しています。

本年は、去る8月5日、古くから文人墨客が訪れ、松尾芭蕉が奥の細道の中で訪れた、古刹蛸満寺の坐禅堂での坐禅例会を実施しました。

我がクラブは、2016-2017年度に中国からの留学生、劉 貝易くんの世話クラブをお引き受けする機会を得て、例年行っている坐禅例会に県内の米山奨学生へご案内する事としました。

この日は、案内文書送付が遅くなった事や、案外に夏休みが留学生にとっては繁忙期であった事が重なり、劉 順くん(本荘RC世話クラブ、秋田大学)と、長 華偉くん(秋田北RC世話クラブ、秋田大学)の2名の参加となりました。因みに、当クラブでお世話する劉 貝易くんは、四川省での学会発表のため残念ながら参加できませんでした。

坐禅体験では、当クラブの会員である蛸満寺熊谷右忍ご住職から、坐禅の作法などのお話を伺った後いよいよ坐禅堂へ。

留学生にとっては初めての体験である坐禅に、緊張した面持ちの真剣な姿での体験となりました。この日も暑い真夏日でしたが、静かに坐する者には、僅かなそよ風や蝉の声に清涼感を覚える貴重な

体験となったようです。

その後、参加者で蛸満寺内を散策し、蛸満寺の七不思議や、歌枕に歌われた景勝地九十九島を観光しました。

少しの緊張体験のあとは、大潤海水浴場に面した絶好のロケーションで、天候にも恵まれ、予定通り屋外でのBBQによる納涼例会です。

それぞれの自己紹介をしながら、2名の留学生は、焼き方や給仕に代わる代わるよく働き、賑やかに懇談しながらのBBQです。特に留学生は、夏の象潟名物「岩牡蠣」の牡蠣剥きに挑戦、この道70年?の金副会長(本業は印刷屋さん)の指導宜しく、最後にはすっかりマスターした二人でした。

夕暮れと共にひとときわ紅に輝く夕陽に感動しながら、次回、鳥海山登山への挑戦に期待を膨らませ、再会を約束した留学生たちでした。

最後になりますが、送迎、坐禅、BBQと留学生のお世話にわざわざご同伴頂きました本荘ロータリークラブ堀茂会長のお力添えに感謝申し上げ、ご報告と致します。



社会奉仕活動

大館中央ロータリークラブ

社会奉仕活動(継続事業)である「大館自然の会へバナ苗木購入資金」及び「大館リトルシニアへボール代金購入資金」を寄附

- ・寄 贈 日 2016年8月22日(月)
- ・新聞掲載日 2016年8月25日(木) 北鹿新聞社

※掲載記事



8月27日(土)-28日(日) 第51回インターアクト年次大会 開催報告

ニツ井RC/インターアクト・ローターアクト委員長 安井 英章

御加護あり

インターアクト年次大会が、8月27日(土)藤里町「ゆとりあ藤里」で、翌28日(日)ニツ井町「壱ノ座(いちのくら)」で開催されました。

ニツ井高等学校をホスト校とし、平澤ガバナーと私が主催者あいさつ、インターアクトクラブ猿田鈴歌部長とホストクラブの飯坂会長が歓迎の意を表し、そして、齊藤滋宣能代市長・佐々木文明藤里町長・伊藤雅和ニツ井高等学校長より来賓のご挨拶を頂きました。

今年の8月は晴天続きで水不足が心配される天候なのに、大会1週間前より台風が三つも発生し当日の予報も雨マークだらけ。二日目にカヌー体験を企画しており雨のみならず川の増水と強風も中止の条件。

しかし、神の御加護あり。

初日・二日目と晴天になり前日までの豪雨による増水も収まり、台風はよけていきました。

式典から始まり、各校の活動報告・月宗寺住職の記念講演・記念写真・ギネスに挑戦 おにぎりむすび、そして生徒の交流会とロータリアン・先生による指導者講習会と初日が終わり、二日目も木工教室・カヌー体験・閉会式とすべての日程が少しのトラブルはあったものの、無事全日程を終了しました。

ニツ井ロータリークラブとして取り組んでいる事業で江戸時代に秋田藩の製錬所があった事を題材としたまちづくりとして「加護山製錬所」に関わる製品づくりの一環で「ありがとうコイン」を作っております。

この大会の参加者全員にそれをプレゼントしました。

すべてが無事順調に終わったのも、皆様の御加護ありです。

ありがとうございました。



米山梅吉記念館便り

シリーズ① 米山梅吉の横顔

米山梅吉は、慶応4年(明治元年・1868年)2月4日東京芝に生まれました。梅吉4歳の時に父竹造の死去に伴い家族は静岡県三島に移り住みます。

梅吉は、7歳頃から駿東郡長泉村の映雪舎に学び、その頃から成績優秀で囁目され、11歳の時に米山家から養子縁組の話が持ち込まれました。13歳で校長・江原素六の沼津中学に通い出すと、それまでの漢学に加え、蘭学、西洋文化など新しい学問に触れ知識欲がさらに膨らんでいきます。15歳で沼津中学を退学し単身上京、銀座の江南学校に入り、新たな未来に向かって歩み始めました。



米山梅吉15,6歳頃。
壁に半紙で「有一志」の文字。

米山梅吉関連図書の紹介



A5判 上製本ケース付
本文590ページ/4,000円

米山梅吉伝

出生から晩年まで、さらに三井銀行、青山学院、三井報恩会、ロータリー関係者、生前の米山と親交があった人達の証言を交えて、様々な角度から米山の人となりをかき上げさせています。「梅吉を知るにはまずこの本から」の1冊です。和歌や俳句、漢詩等、趣味の人米山の文藻も掲載しています。

秋季例祭 | 平成28年9月24日(土) 午後2時～
ご案内 | 米山梅吉記念館

式典/講演会
登録料無料 アトラクションあります。
多くの皆様ご参加ください。

公益財団法人 米山梅吉記念館

〒411-0941 静岡県駿東郡長泉町上土狩346-1
TEL:055-986-2946 FAX:055-989-5101
URL <http://yoneyama-umekichi.jp>
Email:yumh@ai.tnc.ne.jp

【開館時間】午前10時～午後4時
【休館日】月曜日/12月28日～1月4日/整理のための休館日(5月・8月の特定日)



Rotary
Zones 1 & 2 & 3



コーディネーター NEWS

2016年9月号

発行：Zones 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター
今月号の担当 Zone 1 RC

■ 新クラブ設立

- ・第2620地区(第2ゾーン)に甲斐の郷ロータリークラブが6月27日に結成されました。
- ・第2680地区(第3ゾーン)に神戸モーニングロータリークラブが6月7日に結成されました。
- ・第2830地区(第1ゾーン)に八戸西ロータリークラブが7月20日に結成されました。八戸西RCは八戸中央西ロータリー衛星クラブを経て、日本で初めて承認されたケースです。
- ・第2750地区(第2ゾーン)に東京大井イブニングロータリー衛星クラブが7月2日に結成されました。スポンサークラブは東京大井RCです。

■ クラブ合併

2016年7月1日付で第2630地区(第2ゾーン)の不破ロータリークラブと不破の関ロータリークラブが合併しました。合併後は不破ロータリークラブになります。事務所及び連絡先、例会情報は不破RC従来の内容で変更ありません。RI加盟承認日も不破RCの「1970年7月24日」を引き継ぎます。

■ 脱会クラブ

6月30日付で以下のクラブがRI理事会に承認され脱会しました。

- 第2510地区(第1ゾーン)松前RC
- 第2590地区(第2ゾーン)横浜たまRC
- 第2590地区(第2ゾーン)横浜ひまわりRC
- 第2710地区(第3ゾーン)油谷湾RC
- 第2790地区(第1ゾーン)富津RC
- 第2820地区(第1ゾーン)藤代RC

■ クラブの奉仕活動の新聞記事を投稿してください

ロータリー公共イメージコーディネーター(RPIC)は昨年10月から①「奉仕プロジェクトを考えるヒントの提供」②「広報の仕方」に関する情報提供機能を構築しています。本年度も引き続きクラブや地区が実施した奉仕活動が新聞に掲載されましたら「BOX」への投稿をお願いします。詳しくは地区またはRPICにお尋ねください。

■ クラブ数 会員数

Zone 1	830	28,430
Zone 2	651	27,909
Zone 3	793	32,585
合計	2,274	88,924

(2016年8月9日現在のClub Centralのデータです)

■ BOX登録件数

Zone 1	42 件
Zone 2	16 件
Zone 3	80 件

7月末現在 合計 138 件



ロータリーとは何かを説明するには写真にある3つのフレーズを使うと一貫性があり、明確に表現できます。様々な「リーダーが集まり」「アイディアを広げ」社会のために「行動する」



会員候補者向け資料: 自分にできること 今日から始めよう (資料番号:001)

ロータリークラブにとって会員増強は最も重要な取り組みの一つです。今現在、十分な会員数に恵まれているクラブであっても時間の経過と共に会員も高齢化して行くのは当然のことです。したがって、会員増強はこれからのクラブを担う若い会員を少しずつ補強して、クラブのDNAを継承してもらわなければなりません。もちろん、新会員が入会することでアイディアが広がる可能性があります。新会員は活動する原動力になる可能性もあります。つまり会員増強は「活力あるクラブ作り」と言えるでしょう。

ロータリーの創設当時とは異なり、奉仕をする団体は数多く存在します。私たちがロータリアンとして相応しい入会候補者を選定したとしても、候補者がロータリーと他の団体との違いを理解してロータリーに興味を持てただけならば入会に結びつく機会を失うこととなります。違いを理解してもらう方法の一つとしてRIに入会候補者用の新しいパンフレット「自分にできること 今日からはじめよう」が用意されています。このパンフレットには、ロータリーの活動内容や他団体との違いが紹介されています。My ROTARYからPDFファイルをダウンロードするか、オンラインショップや国際ロータリー日本事務局で入手が可能です。(Zone1RC 酒井正人)

新会員のご紹介 ようこそロータリーへ

秋田北ロータリークラブ

幸野谷 弘史 Konoya Hiroshi

職業分類/OA機器販売 役 職/代表取締役
勤 務 先/㈱コーノヤBM 入会年月日/2016年7月5日
紹 介 者/升谷昇平



秋田北ロータリークラブ

塩田 和彦 Shiota Kazuhiko

職業分類/自動車整備 役 職/代表取締役
勤 務 先/㈱塩田車輛 入会年月日/2016年7月5日
紹 介 者/小南淳



田沢湖ロータリークラブ

日高 英樹 Hidaka Hideki

勤 務 先/日高建設㈱ 入会年月日/2016年7月19日
役 職/代表取締役 紹 介 者/西村隆作



湯沢ロータリークラブ

伊藤 稔 Ito Minoru

職業分類/防水業 役 職/代表取締役
勤 務 先/㈱環清工業 入会年月日/2016年7月1日
紹 介 者/瀬川一雄



湯沢ロータリークラブ

岸 大助 Kishi Daisuke

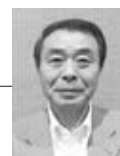
職業分類/保育園 役 職/園長
勤 務 先/湯沢保育園 入会年月日/2016年7月1日
紹 介 者/中川秀悦



湯沢ロータリークラブ

阿部 忠雄 Abe Tadao

職業分類/製造業 役 職/代表取締役
勤 務 先/㈱秋田研磨工業 入会年月日/2016年7月1日
紹 介 者/高橋義明



PHF・MPHF・米山功労者紹介

花輪ロータリークラブ

佐藤 博明 Sato Hiroaki

表彰分類/MPHF 5回目 ガバナー/2013-2014年度
入会年月日/2005年8月 副ガバナー/2016-2017年度
ベネファクター 米山功労者 1回目



山本ロータリークラブ

佐藤 家隆 Sato Ietaka

表彰分類/米山功労者 4回目 会 長/2014-2015年度
MPHF 3回目
入会年月日/2000年12月



山本ロータリークラブ

佐々木 征満 Sasaki Masamitsu

表彰分類/MPHF 3回目 会 長/1994-1995年度
入会年月日/1989年1月 2008-2009年度



山本ロータリークラブ

嶋田 博光 Shimada Hiromitsu

表彰分類/MPHF 3回目 会 長/1982-1983年度
入会年月日/1973年10月 1999-2000年度
チャーターメンバー 2003-2004年度
北区ガバナー補佐/2005-2006年度 2013-2014年度



大曲ロータリークラブ

高橋 右 Takahashi Yu

表彰分類/MPHF 5回目 入会年月日/2007年
米山功労者 3回目



湯沢ロータリークラブ

中川 秀悦 Nakagawa Shuetsu

表彰分類/米山功労者 2回目 会 長/2013-2014年度
入会年月日/2007年7月 MPHF 3回目



横手ロータリークラブ

岩佐 信宏 Iwasa Nobuhiro

表彰分類/PHF 1回目 会 長/2016-2017年度
入会年月日/2002年6月~2009年6月、
2010年7月



横手ロータリークラブ

高橋 陽一 Takahashi Yoichi

表彰分類/米山功労者 1回目 会長エレクト/2016-2017年度
入会年月日/2011年7月



横手ロータリークラブ

針生 敬三 Hariu Keizo

表彰分類/MPHF 1回目 会 長/1993-1994年度
米山功労者 6回目 ベネファクター
入会年月日/1975年10月



横手ロータリークラブ

渡部 栄太 Watanabe Eita

表彰分類/MPHF 2回目 会 長/2008-2009年度
入会年月日/1985年8月 地区ロータリー財団副委員長/
2016-2017年度



物 故 会 員

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



秋田ロータリークラブ

渡邊 靖彦

●1966年1月5日入会
●2016年8月20日ご逝去(享年77歳)
職業分類/バス事業
2002-2003年度/会長

ロータリーレート
2016年9月のレート
1ドル **102円**



ロータリーの友9月号の情報

ロータリーの友9月号に第2540地区の記事が掲載されております。

■心は共に 東日本大震災
『新たなる感動を与えてくれる
ロータリー希望の風奨学金』[32P]
ロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会委員長
地葉 新司(潟上RC)

■大館樹海ドームにトリックアート寄贈 [58P]
大館ロータリークラブ

■ROTARY歌壇 [65P]
成田 繁穂(能代RC)

■2015年11月21日国際ロータリー第2540地区
社会になじむことが難しい若者支援フォーラム
基調講演要旨 [81P]
秋田大学教育文化学部教授/臨床心理士 柴田 健

文庫通信 348号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

以下資料のご紹介を致します。

地区大会講演から

- ◎「一服の叡智」
(D.2520地区大会記録誌) ピチャイ・ラタクル 2015 12p
- ◎「ロータリーの心」
(D.2650地区大会記録誌) 千 玄室 2016 2p
- ◎「もう一度ロータリーを・・・」
(D.2520地区大会記録誌) 小船井修一 2015 8p
- ◎「ロータリーを楽しもう」
(D.2650地区大会記録誌) 河本英典 2016 2p
- ◎「日本の文化・伝統と教育が、拓く未来！」
(D.2730地区大会記録誌) 櫻井よしこ 2016 11P
- ◎「繋がる夢」
(D.2790地区大会記録誌) シルネン・ブヤンジャルガル 2016 3P

■2016-2017年度 7月の会員数・出席率報告

分区	クラブ名	6月末 会員数	7月1日 会員数	7月末 会員数	女性 会員数	40歳未満 会員数	増減	例会 出席率
大館・鹿角	大館	36	36	36	1	1	0	48.57%
	花輪	18	18	18	1	0	0	78.19%
	鷹巣	13	13	14	0	0	1	67.80%
	大館北	18	19	19	4	0	0	78.95%
	十和田秋田	26	27	27	0	1	0	100.00%
	大館南	32	32	32	1	0	0	87.50%
	大館中央	18	18	18	1	0	0	87.03%
能代・男鹿	能代	54	54	56	4	4	2	74.88%
	能代南	10	10	10	1	0	0	80.00%
	男鹿	17	18	16	4	1	-2	83.90%
	二ツ井	10	9	9	1	0	0	65.00%
	五城目	14	14	14	0	0	0	72.00%
	潟上	29	29	31	0	0	2	73.37%
	男鹿北	19	19	19	0	2	0	76.32%
	山本	19	19	19	1	0	0	97.37%
秋田	能代白神	14	14	14	6	0	0	71.43%
	秋田	85	92	91	3	0	-1	83.00%
	秋田東	75	75	75	4	4	0	100.00%
	秋田港	36	36	37	3	0	1	97.30%
	秋田北	44	44	46	2	0	2	100.00%
	秋田南	28	28	28	1	4	0	86.54%
	秋田中央	35	37	37	1	2	0	84.32%
本荘・由利	秋田西	13	13	13	2	1	0	61.52%
	本荘	30	31	31	1	0	0	90.38%
	矢島	11	11	11	0	0	0	59.05%
	仁賀保	9	9	9	0	0	0	100.00%
	象潟	7	7	7	0	0	0	72.00%
	本荘東	23	23	24	0	1	1	59.70%
	本荘南	9	9	9	0	0	0	100.00%
大曲・仙北	大曲	52	52	52	4	4	0	80.00%
	角館	13	13	12	1	2	-1	86.10%
	大曲南	15	15	15	2	1	0	100.00%
	大曲中央	10	10	10	4	1	0	100.00%
	田沢湖	17	17	18	3	2	1	100.00%
	大曲仙北	16	16	16	5	0	0	70.00%
横手・湯沢	湯沢	60	62	62	0	1	0	67.65%
	横手	63	63	63	4	1	0	76.30%
	横手南	61	64	64	2	3	0	97.24%
	西馬音内	14	15	15	1	7	0	44.00%
	湯沢南	19	19	19	2	0	0	70.84%
	稲川	7	7	7	2	0	0	100.00%
	横手東	13	13	13	1	0	0	90.38%
合計	42RC	1,112	1,130	1,136	73	43	6	81.40%

※増減・・・7月末会員数-7月1日会員数

- ◎「スポーツの可能性」
(D.2590地区大会記録誌) 為末 大 2016 8p
- ◎「東洋スロトレー老いない体の作り方」
(D.2780地区大会記録誌) 田中貴恵 2016 4p
[上記申込先:ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011
東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506
http://www.rotary-bunko.gr.jp
●開館:午前10時~午後5時
●休館:土・日・祝祭日